

令和5年4月20日

交通事故概況

令和5年3月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(3月末計上数(確定数))

1 令和5年3月中の交通事故発生状況

区分\内容	3月中		3月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	817	58	2,391	217
死者数(人)	4	2	20	3
傷者数(人)	972	86	2,849	293

[過去10年、3月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年
											10か年	5か年	
3月中死者	13	11	10	8	13	6	10	9	8	2	9	7	4
3月末死者	29	30	26	29	23	33	19	26	24	17	26	24	20
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—

都道府県別(3月中)

順位	1	2	3	4	20
都道府県名	愛知県	大阪府	神奈川県	福岡県	東京都
死者数	19	14	11	10	10

都道府県別(3月末)

順位	1	2	3	4	5	11
都道府県名	大阪府	愛知県	千葉県	神奈川県	福岡県	北海道
死者数	40	35	30	29	27	20

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 3月中の死亡事故(死者4人)

- 事故類型別：人対車両が2人(50.0%)、正面衝突、車両単独が各々1人(25.0%)、
- 道路別：国道が3人(75.0%)、道道が1人(25.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が2人(50.0%)、市街地カーブ、非市街地直線が各々1人(25.0%)
- 発生時間別：6～8時、16～18時、18～20時、20～22時が各々1人(25.0%)
- 第一当事者年齢別：40歳代運転者、50歳代運転者、60～64歳運転者、高齢運転者が各々1人(25.0%)
- 第一当事者違反別：最高速度、歩行者妨害、前方不注意、安義その他が各々1人(25.0%)
- 死者年齢別：60～64歳が2人(50.0%)、50歳代、高齢者の死者が各々1人(25.0%)、

(2) 3月末の死亡事故(死者20人)

- 事故類型別：
 - ・ 出会い頭が6人30.0% (うち一時不停止が4人66.7%、信号無視2人33.3%)
 - ・ 人対車両が5人25.0% (うち歩行者妨害、安義その他が各々2人40.0%)
 - ・ 正面衝突が5人25.0% (うち操作不適が3人60.0%、前方不注意、安全速度が各々1人20.0%)
- 道路別：
 - ・ 道道が11人55.0% (うち出会い頭が5人45.5%、車両単独が3人27.3%)
 - ・ 国道が5人25.0% (うち人対車両が2人40.0%、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人20.0%)
- 地形・道路別：
 - ・ 市街地交差点が8人40.0% (うち人対車両、出会い頭が各々3人37.5%、車両単独が2人25.0%)
 - ・ 非市街地直線が5人25.0% (正面衝突、車両単独が各々2人40.0%、人対車両が1人20.0%)
- 発生時間別：
 - ・ 18～20時が6人30.0% (うち人対車両、車両単独が各々2人33.3%)
 - ・ 12～14時が4人20.0% (うち出会い頭が3人75.0%)
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 40歳代運転者による死者が8人40.0% (うち出会い頭が4人50.0%、人対車両が3人37.5%)
 - ・ 高齢運転者による死者が5人25.0% (うち車両単独が3人60.0%)
- 第一当事者違反別：
 - ・ 一時不停止が4人20.0% (出会い頭が4人100.0%)
 - ・ 前方不注意が4人20.0% (車両単独が3人75.0%、正面衝突が1人25.0%)
 - ・ 操作不適が3人15.0% (正面衝突が3人100.0%)
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が6人30.0% (うち人対車両、車両単独が各々2人33.3%)
 - ・ 30歳代の死者が4人20.0% (うち正面衝突2人50.0%、出会い頭、車両単独が各々1人25.0%)
- シートベルト着用者：

自動車乗車中の死者15人中、シートベルト非着用者は3人(20.0%)であり、2人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

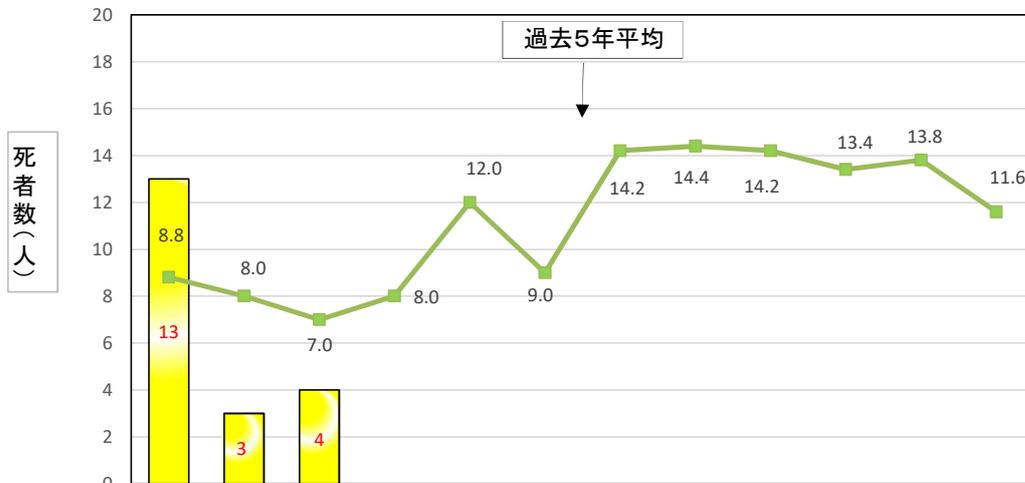
(3) 方面別発生状況

3月中の死者は北見方面が2人(50.0%)、札幌方面、釧路方面が各々1人(25.0%)となっている。
 3月末の死者数は札幌方面が12人(60.0%)、旭川方面が4人(20.0%)、釧路方面、北見方面が各々2人(10.0%)となっている。

方面別\区分	3月中			3月末		
	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
全道	817	58	4	2	972	86
札幌方面	635	44	1		744	67
函館方面	33	-8		-1	38	-14
旭川方面	76	20			94	26
釧路方面	57	6	1	1	76	17
北見方面	16	-4	2	2	20	-10

(4) 月別発生状況の推移

3月中の死者は4人で過去5年平均7.0人を下回っている。
 3月末の死者数は20人で過去平均23.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4										20
年間累計	13	16	20										
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	134.4

(5) 都道府県別死者

3月中は愛知県が19人で最も多く、次いで大阪府が14人、神奈川県が11人となり、北海道は4人で20位となっている。
 3月末は大阪府が40人で最も多く、愛知県が35人、千葉県が30人、神奈川県が29人で北海道は20人で11位となっている。

区分\都道府県	愛知	大阪	神奈川	福岡	東京	兵庫	三重	埼玉	静岡	千葉	全国
3月中死者数	19	14	11	10	10	9	9	7	7	6	226
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	6	8	8	10	-
前年比	6	-2	4	3	4	-4	5	-4	2	-4	23
増減率(%)	46.2	-12.5	57.1	42.9	66.7	-30.8	125.0	-36.4	40.0	-40.0	11.3

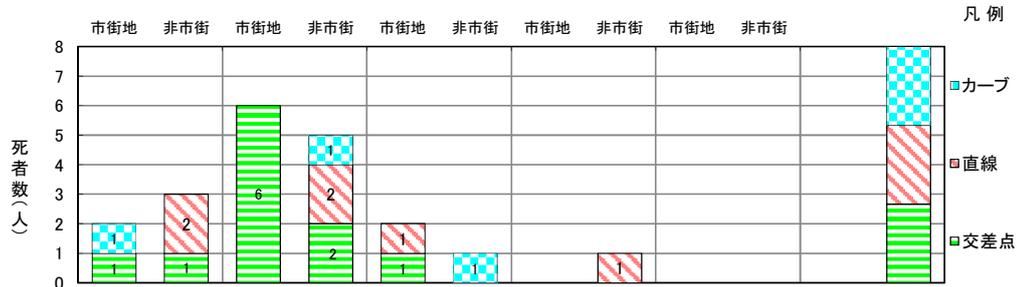
区分\都道府県	大阪	愛知	千葉	神奈川	福岡	東京	茨城	兵庫	埼玉	三重	全国
3月末死者数	40	35	30	29	27	26	24	24	24	21	613
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	7	7	10	-
前年比	11	1	3	1	10	0	8	0	-4	9	51
増減率(%)	37.9	2.9	11.1	3.6	58.8	0.0	50.0	0.0	-14.3	75.0	9.1

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が11人(55.0%)で最も多く、次いで国道が5人(25.0%)となっている。

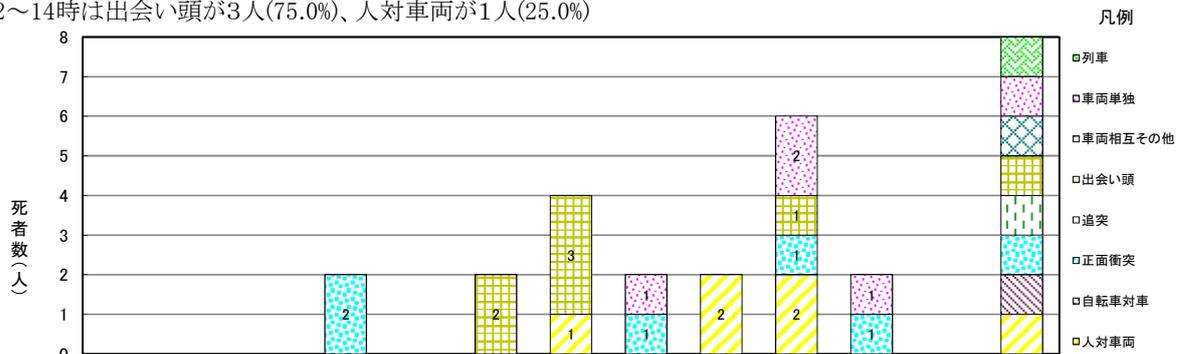
- ・ 道道は市街地交差点が6人(54.5%)、非市街地交差点、直線が各々2人(18.2%)となっている。
- ・ 国道は非市街地直線が2人(40.0%)、市街地交差点、カーブが各々1人(20.0%)となっている。



区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	5	11	3	1		20
構成率(%)	25.0	55.0	15.0	5.0		100.0
過去5年構成率	44.3	23.6	22.6	3.8	5.7	100.0

(2) 時間別

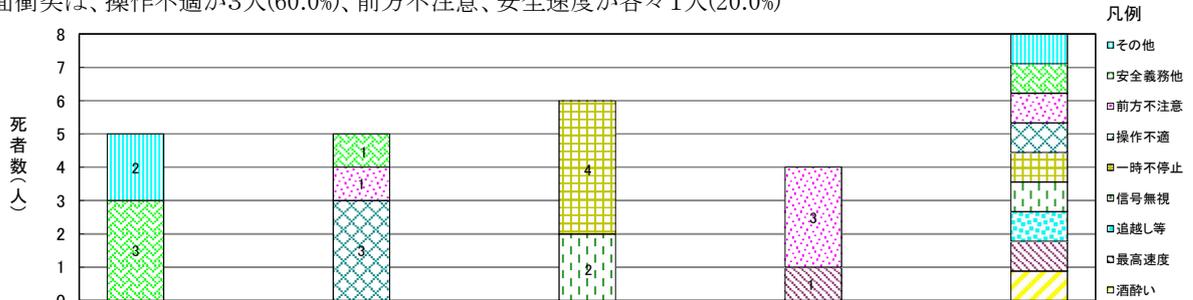
- ・ 18～20時が6人(30.0%)で最も多く、次いで12～14時が4人(20.0%)となっている。
- ・ 18～20時は人対車両、車両単独が各々2人(33.3%)
- ・ 12～14時は出会い頭が3人(75.0%)、人対車両が1人(25.0%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数				2		2	4	2	2	6	2		20
構成率(%)				10.0		10.0	20.0	10.0	10.0	30.0	10.0		100.0
過去5年構成率	1.9	2.8	2.8	8.5	9.4	14.2	14.2	16.0	10.4	12.3	3.8	3.8	100.0

(3) 事故類型別

- ・ 出会い頭が6人(30.0%)、人対車両、正面衝突が各々5人(25.0%)となっている。
- ・ 出会い頭は、一時不停止が4人(66.7%)、信号無視が2人(33.3%)
- ・ 人対車両は、安義その他が3人(60.0%)
- ・ 正面衝突は、操作不適が3人(60.0%)、前方不注意、安全速度が各々1人(20.0%)

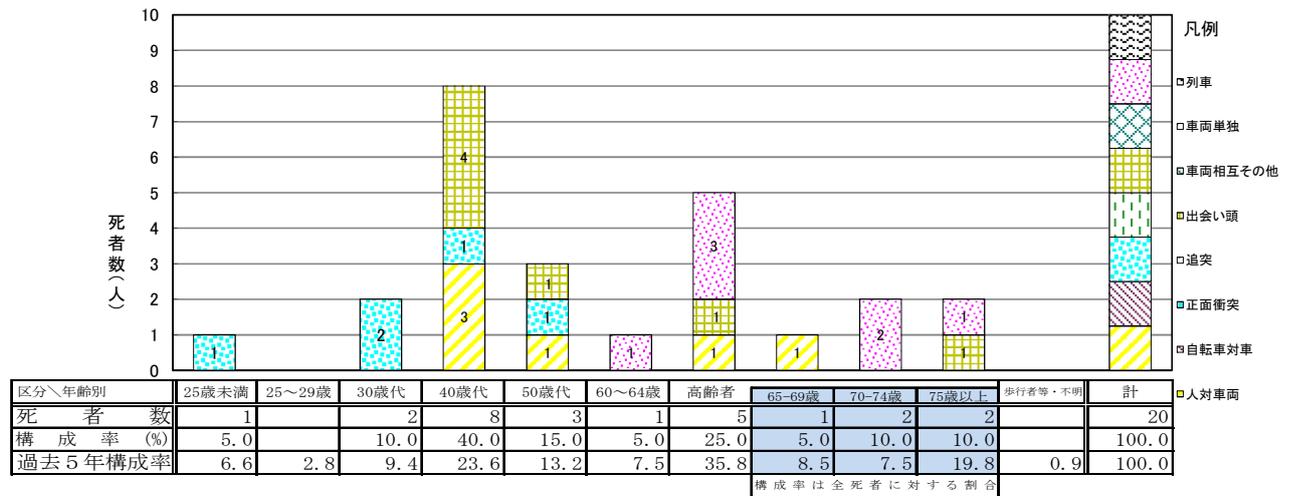


類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
区分\			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	5		5		6		4	20	
構成率(%)	25.0		25.0		30.0		20.0	100.0	
過去5年構成率	29.2	1.9	27.4	0.9	15.1	3.8	20.8	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

40歳代運転者によるものが8人(40.0%)、高齢運転者が5人(25.0%)となっている。

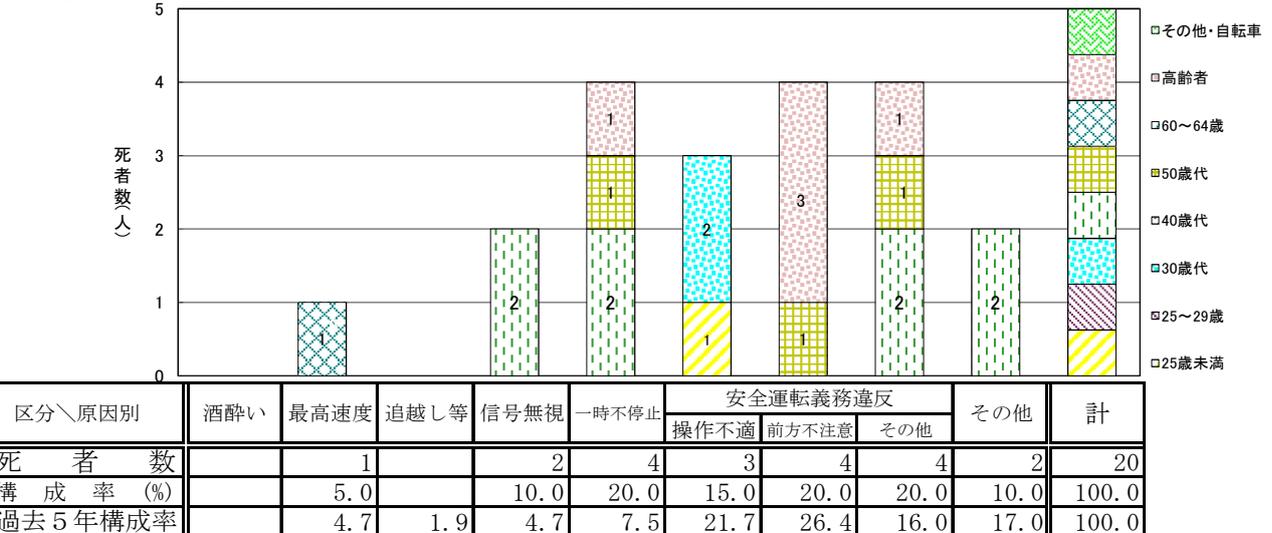
- ・40歳代運転者は出会い頭が4人(50.0%)、人対車両が3人(37.5%)
- ・高齢運転者は車両単独が3人(60.0%)、人対車両、出会い頭が各々1人(20.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

一時不停止、前方不注意、安義その他によるものが各々4人(20.0%)

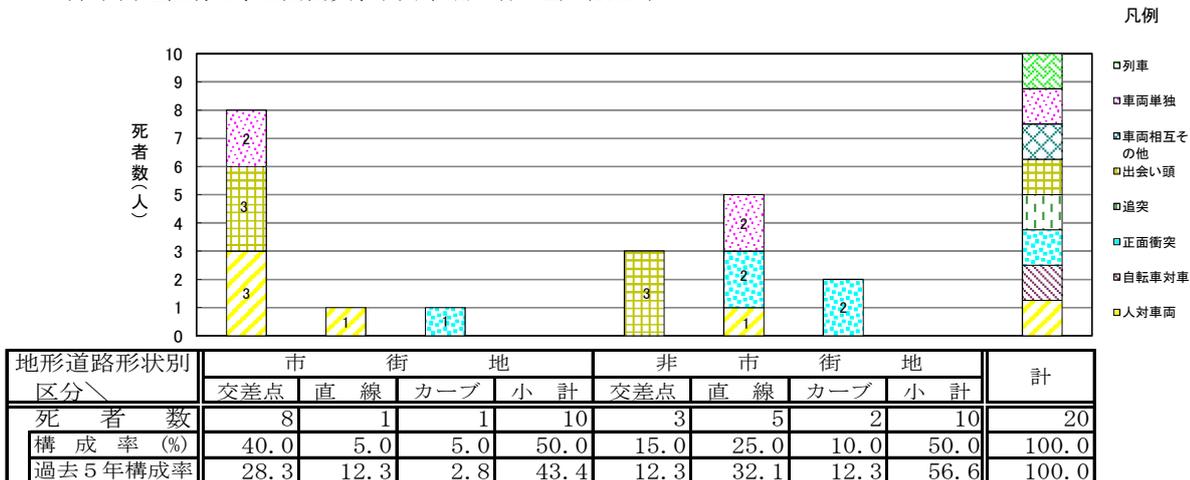
- ・一時不停止は40歳代運転者が2人(50.0%)、50歳代運転者、高齢運転者が各々1人(25.0%)
- ・前方不注意は高齢運転者が3人(75.0%)、50歳代が1人(25.0%)
- ・安義その他は40歳代運転者が2人(50.0%)、50歳代、高齢者が各々1人(25.0%)



(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が8人(40.0%)で、非市街地直線が5人(25.0%)。

- ・市街地交差点は、人対車両、出会い頭が各々3人(37.5%)
- ・非市街地直線は、正面衝突、車両単独が各々2人(40.0%)

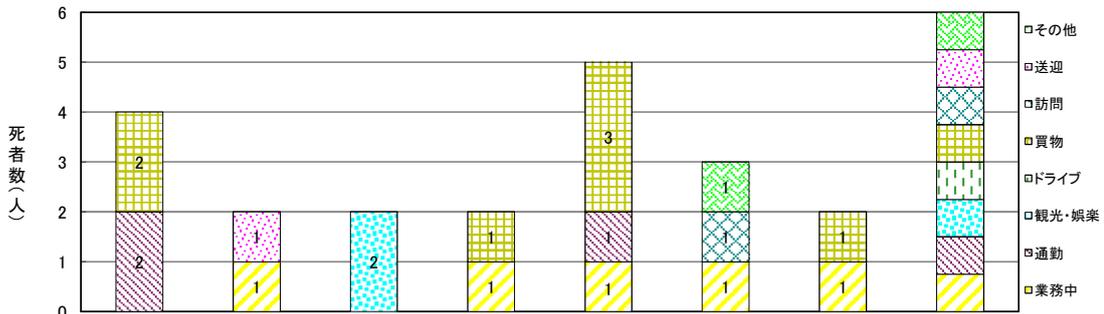


(7) 曜日別

木曜日が5人(25.0%)、日曜日が4人(20.0%)となっている。

- ・ 木曜日は、買い物が3人(60.0%)、業務中、通勤中が各々1人(20.0%)
- ・ 日曜日は通勤中、買い物が各々2人(50.0%)

凡例



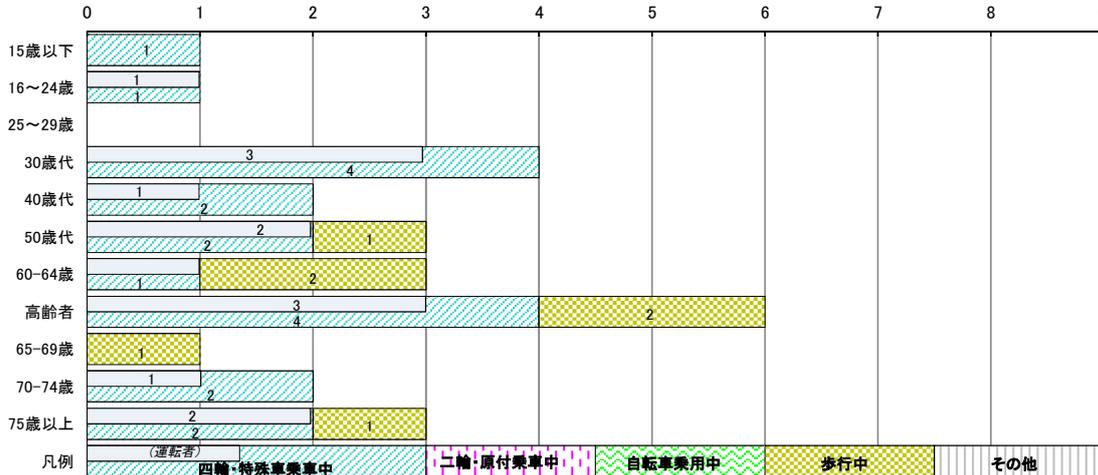
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	4	2	2	2	5	3	2	20
構成率(%)	20.0	10.0	10.0	10.0	25.0	15.0	10.0	100.0
過去5年構成率	12.3	10.4	13.2	13.2	18.9	17.9	14.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が15人(75.0%)で最も多く、歩行中が5人(25.0%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、30歳代、高齢者が各々4人(26.7%)、40歳代、50歳代が各々2人(13.3%)
- ・ 歩行中は60～64歳、高齢者が各々2人(40.0%)
- ・ 死者の年齢層別では、高齢者が6人(30.0%)で、うち75歳以上が3人(50.0%)となっている。

死者数(人)



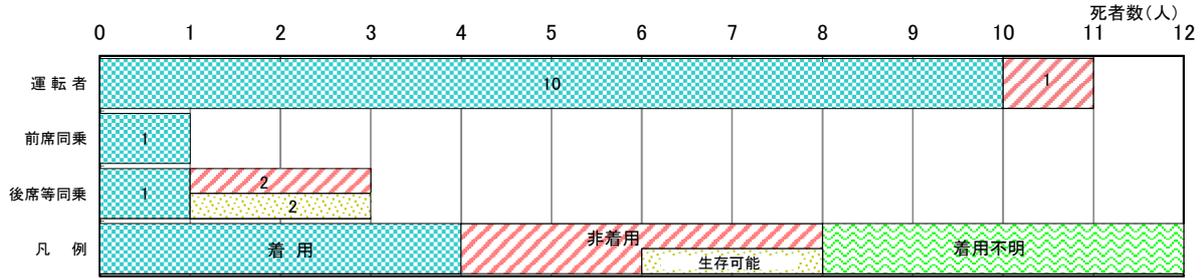
状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自転 車乗 用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
								(%)	(%)
15歳以下	死者数	1	0	0	0	0	1	5.0	1.9
16～24歳	死者数	1	0	0	0	0	1	5.0	2.8
25～29歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	1.9
30歳代	死者数	4	0	0	0	0	4	20.0	7.5
40歳代	死者数	2	0	0	0	0	2	10.0	9.4
50歳代	死者数	2	0	0	1	0	3	15.0	9.4
60～64歳	死者数	1	0	0	2	0	3	15.0	8.5
高齢者	死者数	4	0	0	2	0	6	30.0	58.5
65～69歳	死者数	0	0	0	1	0	1	5.0	13.2
70～74歳	死者数	2	0	0	0	0	2	10.0	8.5
75歳以上	死者数	2	0	0	1	0	3	15.0	36.8
計	死者数	15	0	0	5	0	20	100.0	
	構成率	75.0			25.0		100.0	—	—
	過去5年構成率	66.0	1.9	1.9	28.3	1.9	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者15人中、シートベルト非着用者は3人(20.0%)となっている。
非着用者2人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用					非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席	同乗者 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可		
令和4年	15	12	10	1	1	3	1			2	2
構成率(%)	100.0	80.0	83.3	8.3	8.3	20.0	33.3			66.7	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、30歳代、40歳代、60～64歳が各々1人(33.3%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	高齢者の内訳			その他・不明	計
								65～69歳	70～74歳	75歳以上		
ベルト着用	2		3	1	2		4		2	2		12
構成率(%)	16.7		25.0	8.3	16.7		33.3		16.7	16.7		100.0
ベルト非着用			1	1		1						3
構成率(%)			33.3	33.3		33.3						100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者3人の損傷加害部位をみると、車外他、座席、車内他が各々1人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用			4	1		2	1		1	3		12
構成率(%)			33.3	8.3		16.7	8.3		8.3	25.0		100.0
ベルト非着用		1							1	1		3
構成率(%)		33.3							33.3	33.3		100.0
運転者		1										1
構成率(%)		33.3										33.3
同乗者									1	1		2
構成率(%)									33.3	33.3		66.7

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和3年度及び4年度(ここでは令和3年11月～令和5年3月)の発生は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和4年度	死亡事故	13	6	13	3	4	39
	冬型事故		4	3	2		9
	スリップ		4	1	2		7
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						
令和3年度	死亡事故	15	10	7	8	2	42
	冬型事故	1	6	4	1	1	13
	スリップ	1	5	4			11
	視界不良				1		1
	わだち			1			1
	その他						